

日野市観光協会だより

第36号 (令和4年3月発行)

特定非営利活動法人 日野市観光協会
<http://www.shinsenhino.com/>



平成から令和、そして未来へ

案内板がつなぐ「高幡不動尊の曼珠沙華」

広報部長 井村 廣 巳

「お不動さまは永遠のテーマパーク」これは川澄祐勝^{ゆうしょう}日野市観光協会前理事長のお言葉です。春は山菜夷^{さんしめゆ}から始まり、梅・木蓮・桜・躑躅と続き、5月には山全体が新緑の美しい季節になり、6月は紫陽花が咲き誇ります。そして菊・紅葉の前には初秋を彩る曼珠沙華^{まんじゅしゃげ}と、高幡不動境内は季節の花々で彩られます。

この曼珠沙華の植栽は、平成27年(2015年)から始まり、現在の杉田純^{しゅん}一理事長によって引き継がれています。初めの数年間は、枯れたり、土地に馴染まずやせ細るなど、咲き揃わぬ花に翻弄されて諦めかけた時もありましたが、近年は馬場跡広場周辺で見事に咲き誇る姿ばかりでなく、山あ

いに八十八か所巡りの弘法大師様とともに咲く姿が散策する方々を癒し、楽しませ、インスタ映えするなどコロナ禍にあっても人気のスポットになっています。

日野市観光協会は、コロナ禍の影響で令和2年度～3年度と2年続きで十分な活動をする事ができませんでした。そのような中でも「こんな時期だからこそ行える事業」として、令和3年8月、山内5か所に曼珠沙華案内板を設置しました。

後年、コロナ禍に翻弄された我々世代はいなくなりますが、ステンレスの案内板は残り、更に隆盛して秋の風物詩となる曼珠沙華を楽しむ方々のために活躍してくれると思います。手前味噌になりますが、曼珠沙華案内板がコロナ禍で世界が揺れた時代の我々のささやかな活動を語るレガシーとなれば幸いです。

曼珠沙華の植栽について

曼珠沙華(彼岸花)の植栽で「地域を一層魅力的なものとして多くの方々に喜んでいただきたい」という願いを込めて、平成27年に東京日野ロータリークラブ創立50周年記念事業として実施されたものです。

映画「燃えよ剣」公開

土方歳三没後150年にあわせて映画製作がスタート、当初は2020年5月公開予定でしたが、コロナ感染拡大の影響により2021年10月15日に延期となりました。



「燃えよ剣」日野ふるさと試写会 共催:(株)ジェイコム東京

公開前10月2日(土)新選組のふるさと日野の「ひの煉瓦ホール」にて試写会が開催され募集定員300名のところ4,000名近い応募があり、当日は市内外から多くの新選組ファンと映画ファンが来場しました。尚、同映画は昨年末公開を終了し、業界報告では興行収入11.8億円となり、改めて土方歳三と新選組の魅力が全国に広がったと思います。

(J:COM東京 八王子日野局長 海老澤孝一)

日野市特別試写会に出展

10月2日(土)

「燃えよ剣」特別試写会が、ひの煉瓦ホールにて開催されました。日野市内外より多くの土方歳三(新選組)ファンが集うイベント。「新選組のふるさと日野」のPRのため日野市観光協会もお土産コーナーを出展しました。映画に因み、一押しは土方歳三の愛刀「和泉守兼定」の模造刀!残念ながら販売には至りませんでした。熱心に見ている方がいました。他にも歳三うどん・手ぬぐい・クリアファイル・ポストカードなどを販売し、多くの方にお買い求めいただきました。(企画室長 滝瀬仁久)



日帰り研修「燃えよ剣」鑑賞会を開催

11月25日(木)



一年半ぶりに研修会を開催することができました。部員の方と協議し、感染対策をして映画「燃えよ剣」を立川シネマシティで観賞しました。参加者は20名。映画では、新選組の事や多摩の暮らし、バラガキから新選組に向かうまでなどが良く描かれており、殺陣は自身でも考えているという岡田准一さんの歳三役は、天然理心流の技が際立ち感動しました。映画を通して日野市にも興味を持っていただきたいです。今後も時世に対応しながら研修会を計画いたします。(研修部長 丸山祐幸)

「新選組のふるさと日野に隠された～土方歳三の宝～」開催

11月1日(月)～12月26日(日)

映画公開を契機に、日野市観光協会は、日野市・京王電鉄・多摩都市モノレール・東日本旅客鉄道との協働で、「謎解きをしながら市内のスポットを巡り、隠された宝を探す」イベントを開催しました。期間中は家族連れを中心に3,000組を超える方にご参加いただきました。(事務局)



伸びゆく日野市写真コンクール

コロナ禍にあった令和2年度(第54回)、令和3年度(第55回)も伸びゆく日野市写真コンクールは開催され、それぞれ入賞作品が決まりました。

第54回は、新型コロナウイルス感染症拡大により、市内行事の大幅な縮小のため、応募作品の減少が予想されました。そこで、より多くの方に写真コンクールに親しんでいただくことを目的として、データによる応募も受け付けることといたしました。その結果、応募者数、応募作品数ともに前回は上回る結果となりました。

応募作品の中には、審査員も初めて見る日野市の風景等もあり、日野市の新たな発見をしました。また、応募者の世代も様々で、特に10代～40代の応募作品の増加が目立ちました。



第54回推薦(日野市長賞)「水遊び!!」野村明雄さん

第55回につきましては、前回は引き続きデータによる応募も受け付けました。対象期間は、引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大による市内行事の縮小、中止により作品数は減少するものと見込まれていました。しかし、結果として作品数は前回より22点少ない341点、応募者は前回より5名多い69名の応募となりました。作品は日野市の風景だけではなく、様々な状況下でありながらも生き生きと暮らす人を捉えた作品も多く見受けられました。

審査は新型コロナウイルスの感染対策に万全を期すため、限られた審査員で実施しました。審査長の山下 勲先生から作品の見方やアドバイスを聞きながら、入賞作品を選んでおりました。

残念ながら表彰式は開催されませんでした。入賞作品は日野市役所1階にて展示され、また日野市内循環ミニバス7路線にて展示予定です。ぜひご覧ください。

(事業部長 亀山孝一)



第55回推薦(日野市長賞)「一瞬の光陰」渡邊敦子さん



全入賞作品はこちらから

令和3年度定期総会(委任状議決)を開催

6月9日(水)

日野市観光協会では例年6月に高幡不動尊信徒会館に於いて、来賓の方々をお招きして総会を開催してまいりました。しかしながら新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、2年連続で理事長・副理事長4名・監事・総務部長・事務局2名の最小人数(委任状113名含む)での開催となりました。各部会の提案に対して企画室で精査した

後、総会の議案書を作成しました。内容は例年の4件(事業報告・決算報告並びに事業計画・予算計画)と、任期満了に伴う監事選任の件、並びに定款の一部変更を行いました。これにより理事会・総会等においても書面評決が出来るようになりました。(総務部長 滝瀬仁久)

令和3年度 室部会構成

理事長	杉田 純一							
副理事長	谷井 正剛 <small>(理事長補佐)</small>	滝瀬 正幸		中澤 洋		武井 素文		
	企画室	総務部	事業部	まつり推進部	研修部	広報部	ガイド部	菊まつり部
室部長	滝瀬 仁久	滝瀬 仁久	亀山 孝一	山口 徹雄	丸山 祐幸	井村 廣巳	芹川 孝一	志村 進一
副部長		亀田 茂隆	コニカミノルタ 新居 久朋	土方 尚功	小峰 敏夫	京王電鉄 林 健太郎	伊坂 潔	山下 和美
		三輪 親弘	泉 要太郎	尾崎 義昭	富士電機 伊藤 光隆	和田 達也		結城 祐純
				西明 靖陽	土方 淳	西山 尚之		
部員	亀山 孝一	山田 周二	平 広己	三浦 盛好	佐藤 光弘	ジェイコム東京 海老澤孝一	井上 雅雄	田中くに子
	山口 徹雄	森久保雅道	藤本左智子	日野青年会議所 平 滋雄	澤田 研二	日野自動車 佐々木利則		
	丸山 祐幸	大東京信用組合 中村 匡暢	松枝 力	野村 圭伊	山下 雅弘	多摩都市モノレール 山本 哲也		
	井村 廣巳		吉澤 武子	新倉 久雄	疋田 久武	藤田 宗篤		
	芹川 孝一		岩崎 愛子	雨宮 克臣				
	志村 進一		宮崎 寛康	梅田 俊幸				
特別部員		平 滋雄	中嶋 良樹	秋山 薫	奥住 匡人	菅原 直志	土淵眞佐子	西野 正人
		榎田 光仁	多摩信用金庫日野支店	峯岸 弘行	籾野 洋	日野映像支援隊	土方 愛	桜 建設
			多摩動物公園	江口 和雄	平 幹男	大田 英二	佐藤 福子	渡邊 良勝
			明星大学	島谷 広則	佐藤 外次			本田 誠
			秋間 芳行	峯岸多賀子				薬師寺こず江
			金田 達雄	堀内 一三				
			村上 義輝	土方 誠				
				穂谷 武志				
				西野 土建				
				東京南農業協同組合七生支店				
			東京南農業協同組合日野支店					

(令和3年6月現在)

これからの行事予定

新型コロナウイルスの影響で中止・変更をする場合があります

5月7日(土)・8日(日)

第25回ひの新選組まつり

6月上旬

日野市観光協会定期総会

6月1日(水)~30日(木)

高幡不動尊あじさいまつり



新商品発売中！

「薄桜鬼 真改×日野市」トートバッグを令和3年12月25日(土)から販売開始しました。

日野市のために描き下ろされた土方歳三のシルエットがモチーフです。価格2,200円(税込)

販売場所：日野市観光案内所(日野宿交流館1階)

観光事業の功績に対し表彰



令和3年度日野市表彰に於いて、山下和美菊まつり副部長が長年の観光事業の功績に対し生活文化功労章を授与されました。お祝い申し上げます。

日野市観光協会の歩み 1958年(昭和33年)、日野町・七生村が合併し都立多摩動物公園が開園した年に日野観光協会として発足しました。1987年(昭和62年)日野観光協会から日野市観光協会へと名称を変更し、2006年(平成18年)3月28日に「特定非営利活動法人」の認可を受けました。その間、「菊まつり」「新選組まつり」をはじめ多くの事業を実施し2005年(平成17年)には事務局を「日野宿本陣」の敷地内に移転しました。

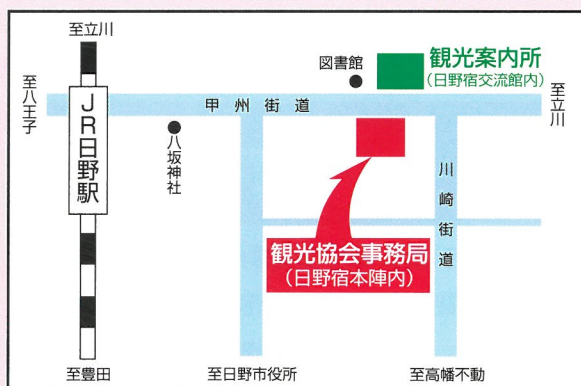
バナー広告主募集

現在、日野市観光協会ではバナー広告主を募集しております。ぜひご検討ください。

(サイド月額 会員2,500円 一般5,000円)

特定非営利活動法人日野市観光協会 事務局

9:00AM~5:00PM 月曜休(祝日の場合は翌平日)
〒191-0011 東京都日野市日野本町2-15-9
TEL(042)586-8808 FAX(042)586-8961
E-mail info@shinsenhino.com



会員募集

特定非営利活動法人日野市観光協会では会員を募集しています。日野市の観光や新選組、その他イベント等に興味のある方のお入会をお待ちしています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

編集後記

映画「燃えよ剣」が公開され、土方歳三のふるさと日野市も大いに盛り上がりました。私も市内において、リアル宝探しの参加冊子を手に楽しそうに回遊する参加者を見かけ、その盛り上がりを感じました。「伸びゆく日野市写真コンクール」ではどの作品も素晴らしいものばかりで、改めて日野市の魅力を再認識しました。今後も様々な行事やイベントがありますので、コロナも落ち着き、多くの方々に日野市を楽しんでいただきたいですね。

(G)